

メンテナンス(ビニル系床材・リノリウム・ポレオレフィン・バイオベースシート)

床材のメンテナンスは、使用状況に応じた適切な管理が必要です。
 使用状況・使用用途を考慮した適切な床材の選定と適切なメンテナンスの方法が、床材を美しく保ちます。
 (ゴム床材のメンテナンスについてはP.152を参照してください。)

床材の特性に応じたメンテナンス

アームストロングチップインレイド床材 (ニューテッセラコーロン) スタンダードエグゼロン		アームストロング社伝統のインレイド構造により、ワックスの密着性にすぐれます。 ドライメンテナンス適応床材ですので定期的なメンテナンスを繰り返すことで、床材の耐久性をさらに向上させます。
サンビオス	ノーワックス メンテナンス	表面にEvercare処理が施されているため、ワックス塗布によるメンテナンスは不要です。 光沢を出したい場合は、ワックス塗布を行なってください。
アームストロングリノリウム メディートーン インプレッションコンフィ コネクションコーロン	ノーワックス メンテナンス	表面にポリウレタンコーティング(またはアクリルコーティング)が施されているため、ワックス塗布によるメンテナンスは不要です。 光沢を出したい場合は、ワックス塗布を行なってください。
レックスコート インタータフシート		表面にポリウレタンコーティングが施されているため、施工直後のワックス塗布は不要です。 クリーナーM-200C(水希釈液)で汚れを落とすのみとしてください。 施工後、3~6ヶ月後にワックス塗布を行なってください。
アルトロセーフティーフロア (X-25・D-25・VM-20・T-20)		厨房やトイレでの使用の場合、日々のメンテナンスについては固く絞ったモップによる水拭きか、 クリーナーM-200C(水希釈液)による洗浄としてください。 ワックスを塗布する場合は、薄塗り(1回塗布)を厳守してください。 過度のワックス使用は防滑効果を低下させるおそれがあります。
アルトロスプリーマ		アルトロセーフティーフロアと比較して、汚れが落としやすい「イーゾークリーンMAXIS PUR」を採用しています。 歩行頻度の激しい場所などで、ワックス塗布の必要がある場合は、薄塗り(1回塗布)を厳守してください。 過度のワックス使用は防滑効果を低下させるおそれがあります。

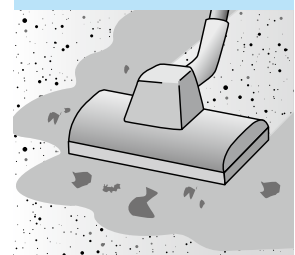
引渡前のメンテナンス

お引渡し前のメンテナンスには、床材の持つ本来の美しさを引き立たせる目的があります。
 それぞれの床材に適したメンテナンスを行なっていくために必要な作業です。

- ① 掃除機・ダストモップなどでホコリ・チリ・土砂などを除去してください。[図1]
- ② 施工後約1週間経過してから、クリーナーM-200C(水希釈液)で汚れを取り、乾燥させてください。[図2]
 ※初期の清掃時に剥離剤(リムーバーM-300Rなど)は使用しないでください。
- ③ 乾燥後ワックスM-100Wを塗布してください。[図3]
 1回目のワックスが十分乾燥したら2回目を塗り重ねてください。引渡前のワックスの塗布回数は3回程度を目安とします。
 ※アルトロ防滑床材にワックスを塗布する場合は薄塗り(1回)を厳守してください。

- 床材表面に印刷されている文字
 水に浸した布を固く絞って拭き取ります。水拭きで除去しにくい場合は、少量の中性洗剤を含ませて拭き取ってください。
- 接着剤の汚れ
 目地からはみ出たり、床材表面に付着した接着剤は硬化しないうちに拭き取ってください。
- 養生テープによる汚れ
 施工後に床面を保護するために養生シートなどを使用しますが、この際に使用する養生テープによって床材表面が着色汚染されることがあります。養生シートの上からも汚染されることがありますので、汚染の原因となる養生テープの使用は避けてください。

【図1】ホコリ・チリなどの除去



【図2】洗浄剤・剥離剤の塗布・洗浄

